

たんぽぽ通信

(庄原、総領地域版)

2009年7月

日本共産党庄原市委員会

庄原市西本町一丁目4-10

TEL・FAX 72-3366

市長が

産婦人科医
小児科医

確保のため 市独自の

「奨学金を創設したい」

と答弁

あなたも しんぶん赤旗を
ぜひ お読みください
日曜版は 月 800 円です



藤木くにあき (58歳)

TEL 74-1190 FAX 74-0777

携帯 090-5704-0645

市議会議員(教育民生常任委員)

自宅/庄原市水越町598

さまざまな生活相談に無料でとりくんでいます 気軽にご連絡ください

ホームページは、藤木くにあき で検索して下さい

2010年度から

6月議会 藤木議員の一般質問

出産医療の再開



日本共産党

藤木 「出産医療の再開のため、市独自の奨学金制度を早急に創設すべきではないか」

市長 「産婦人科医、小児科医等、薬剤師、看護師として、庄原日赤、西城病院等で一定期間従事すれば償還を免除する、医学生等への奨学金制度を2010年度から施行できるようにしたい」

イノシシ駆除の徹底



藤木 「イノシシ駆除の徹底のため、市が、捕獲班に貸与した箱わなを、捕獲班が猟期に捕獲(狩猟)するときにも、使用できるようにすべきではないか」

市長 「市が捕獲班に貸与した箱わなは、猟期には、使用させないことにしている」

藤木 「イノシシ被害に苦しむ農家の願いに応えるため、再考を求める」

解説

イノシシの捕獲には、猟期(11月15日から2月28日まで)におこなう「狩猟」と、駆除期間(3月15日から10月31日まで)におこなう「駆除」があります。

市長は、「狩猟」と「駆除」を「区別」するため、駆除のために市が捕獲班に貸与した箱わなは、猟期には使用させないとしています。

イノシシ被害が拡大しているとき、こんなことでよいのでしょうか。

庄原中学校の建替え

藤木 「新築にあたっては、将来、少人数教育（25人程度のクラス編成）ができるよう、教室数を確保すべきではないか」

教育長 「校長や保護者、地域代表の意見を聞きながら（将来の少人数学級編成もふまえ）検討したい」

解説 庄原中学校は、耐震診断の結果、地震により崩壊の恐れがあることが明らかになり、2010年度から建替えることになっています。

現在、日本は40人学級が基準となっており、庄原中学校は、一クラスの生徒が39人から40人になっています。

しかし、イギリスでは22人、フランス、ドイツでは25人となっています。今後、日本もこうしたクラス編成になっていくことは間違いありません。

40人学級で建替えた場合	16教室
25人学級で建替えた場合	22教室
その差	6教室
	（2012年度の生徒数で試算）

谷口議員の一般質問

東城まちなみ拠点施設は凍結、再検討を

谷口 「三楽荘を取得するのなら、まちなみ拠点施設の新築は再検討すべきだ」

市長 「三楽荘（土地代4600万円、家屋の修繕費900万円）も、まちなみ拠点施設の新築（7600万円）もやりたい」

解説 三楽荘と、まちなみ拠点施設の新築予定地は、道路をはさんだ、近い場所にあり、両方やるのは、財政難のもと、不要、不急の投資になります。

総選挙で いまこそ 日本共産党を 躍進させてください

総選挙が迫ってきています。

私たちは、比例代表中国ブロックで、議席回復に全力をつくします。

みなさんのお力を、ぜひ、お貸しください。

